

令和8年度

京都府立井手やまぶき支援学校

教育後援会総会

議案書



京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会

令和 8 年度

京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会

総会日程

I 総会

〈開会〉

- (1) 開会挨拶
- (2) 会長挨拶
- (3) 校長挨拶
- (4) 議長選出
- (5) 報告事項
 - ア) 令和 7 年度事業報告
 - イ) 令和 7 年度決算報告
 - ウ) 令和 7 年度会計監査報告
 - エ) 質疑
- (6) 議案審議
 - ア) 役員の改選について
 - イ) 令和 8 年度教育後援会事業計画（案）
 - ウ) 令和 8 年度教育後援会予算（案）
 - エ) 二十歳を祝う会（案）について
 - オ) 今後の会員募集、ちらしの配布、納金方法について
 - カ) 質疑・承認
- (7) 閉会挨拶（副会長）
- (8) 役員の自己紹介、自由懇談
- (9) 記念写真撮影

〈閉会〉

京都府立井手やまぶき支援学校 教育後援会 会則

■ 目的・趣旨

[第1条]

井手やまぶき支援学校教育後援会（以下「本会」という。）は、井手やまぶき支援学校（以下「本校」という。）における教育の充実を支援するとともに、教育環境の整備等に係る後援をとおして、特別支援教育の充実及び振興、障害のある方の豊かで幸福な生涯と共生社会の創造に資することを目的とする。

■ 事業

[第2条]

本会は、前条の目的・趣旨を達成するため、次の事業を行う。

- ① 本校児童生徒の育成・卒業生の生涯学習、キャリア発達等に関すること
- ② 特別支援教育等についての普及、啓発に関すること
- ③ 教育環境の整備、充実に関すること
- ④ 教職員・保護者の資質向上に関すること
- ⑤ その他、本会の目的を達成するために必要な事業

■ 会員

[第3条]

本会の会員は、本会の目的・趣旨に賛同する個人または団体とする。

■ 役員

[第4条]

1 本会は、次の役員を置く。任期は原則1～3年とし、再任を妨げない。

- ①会 長 1名
- ②副 会 長 2～4名
- ③理 事 若干名
- ④庶 務 1～2名
- ⑤会 計 1名
- ⑥会計監査 1～2名

2 役員の選出は次のとおりとする

- ①会長、副会長は役員会で推薦し、総会において承認を得る
- ②その他の役員は会長の推薦に基づき、総会において選出する。

3 役員の任務は次のとおりとする

- ①会長は本会を代表し、会務を総理し、総会及び役員会を招集する。
- ②副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
- ③理事は本会の運営及び事業に関する事項を審議する。なお、本会を効果的に運営するた

め理事には校長を含むものとする。

- ④庶務は、会務の処理及び会の活動を記録する。
- ⑤会計は本校経営企画室長（事務長）がその任にあたる。
- ⑥会計監査は、会計を監査する。

4 本会は顧問を置くことができる。

なお、顧問は役員会の推薦に基づき総会において承認を得る。

■ 総 会

[第5条]

1 総会は、毎年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時に開くことができる。

2 総会は、会長、副会長、理事、庶務、会計および会計監査、会員をもって構成し、会長が議

長となる。

3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。

4 総会は、次の事項を決定する。

①役員の選出

②事業報告および事業計画、予算、決算

③会則の改正

④その他、本会の重要事項

■ 事務局

[第6条]

事務局は、本校 経営企画室内に置く。

■ 会計年度

[第7条]

本会の会計年度は毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

■ 運営資金

[第8条]

1 本会の運営は、会費、寄付金およびその他の収入による。

2 会費等の徴収は、本校に委託して行う。

3 会費の額およびその納入の方法は、次のとおりとする。

①個人会員の会費は、年額一口2,000円以上とし、毎年納入する。

現役本校PTA会員は、一口1,000円以上とする。

②団体会員の会費は、年額一口10,000円以上とする。毎年納入する。

■ 会則の改廃

[第9条]

この会則の改廃は総会が行う。

■ 細則等の制定

[第10条]

この会則の施行に伴う細則、その他の規程は、総会において定める。

附則：この規程は、令和6年4月1日から施行する。

令和7年度京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会事業報告（案）

1 児童生徒の育成、生涯学習推進、共生社会推進事業後援

- ・ 6月京田辺レーブチャレンジカップ関西大会予選出場支援
- ・ 8月レーヴチャレンジカップ関西大会出場支援
- ・ 12月オープンスクールデーの企画運営
- ・ 2月レーヴ主催フットサル大会出場支援

2 卒業生支援事業後援

- ・ 「二十歳を祝う会」の企画運営
- ・ ISCC（スポーツと文化を楽しむ日）への参加支援

3 教職員・保護者の向上推進事業後援

- ・ 8月井手町4校職員研修会支援

4 教育環境の整備事業後援

- ・ 図書ラウンジ、蔵書（102冊購入）



主な年間学校行事（令和7年度）		教育後援会関係
4月	始業式 入学式 PTA総会	
5月	健康診断 家庭訪問 学校公開①	
6月	わくわくスポーツ祭（小） プール開始 学校公開① 学校説明会（小・中） 学校説明会・体験学習（高） 読書月間	4日（水）10:00～ 第1回役員会 総会
7月	前期進路相談ステージⅡ（高） PTA進路学習会	
9月	始業式 個人懇談 修学旅行（小） 学校公開②	
10月	小中体験学習 修学旅行（中・高） 学校説明 会・体験学習（高） やまぶき祭（学校公開③）	
11月	後期進路相談ステージⅡ（高） 学校公開④ RUN×3（中・高） 総合防災訓練	
12月	学校公開④（小） 学部集会 終業式	16日（火） オープンスクールデー
1月	始業式 高等部入学選考	17日（土）第2回役員 会・『二十歳を祝う 会』
2月	小中入学相談 入学説明会 個人懇談 読書月間 進路相談ステージⅠ	
3月	卒業証書授与式（高／小・中） 学部集会 修了式	

令和7年度 京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会会計決算書

〔収入の部〕

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
繰 越 金	92,723	92,723	0	令和6年度より繰越
会 費	400,000	541,000	141,000	
雑 収 入	77	629	552	
合 計	492,800	634,352	141,552	

〔支出の部〕

	予算額 (A)	支出済額 (B)	残 額	摘 要
事務費	50,000	30,450	19,550	ピンバッジ作成、チラシ印刷費
教育活動補助費	0	0	0	
読書活動補助費	410,000	410,000	0	図書購入費 (102冊)
部活動補助費	0	0	0	
行事補助費	20,000	7,202	12,798	二十歳を祝う会 コースター、色画用紙他
予備費	12,800	72,595	-59,795	野口晃菜氏講演料、フットサル大会補食
合 計	492,800	520,247	-27,447	

	収入済額 (円)	支出済額 (円)	残額 (円)
差引残額	634,352	520,247	114,105 (次年度へ繰越)

監査の結果、上記のとおり相違ないことを確認しました。

令和 8 年 3 月 3 1 日

会 計 堤 田 茜

* 印影省略

令和8年度 京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会役員

役職	お名前	所属・肩書等
会長	有友 廣充	綴喜ライオンズクラブ 会長(21~22) (株)ヒロミツ製作所代表取締役社長
副会長	牛路 由紀	井手やまぶき支援学校卒業生保護者
	東村 行訓	井手やまぶき支援学校保護者 井手やまぶき支援学校学校運営協議会委員 おやじの会(本校 PTA サークル)
理事	久保 典彦	京田辺市議会議員 山城青年会議所役員 井手やまぶき支援学校学校運営協議会委員
	中谷 英輔	(株)まちづくり井手 代表取締役 井手町商工会、中和建設株式会社
	脇田 明子	国際ソロプチミスト南京都
	江口 直美	井手やまぶき支援学校長
庶務	田中 淳子	井手やまぶき支援学校卒業生保護者
	宮本 朋子	井手やまぶき支援学校副校長
	津路 研介	井手やまぶき支援学校学校運営協議会コーディネーター 井手やまぶき支援学校教諭
会計	倉崎 幸恵	井手やまぶき支援学校経営企画室長経営企画室長
会計監査	西村 智子	井手やまぶき支援学校経営企画室長補佐
顧問	丸岡 恵真	前井手やまぶき支援学校長

令和8年度京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会事業計画（案）

- 1 児童生徒の育成、生涯学習推進、共生社会推進事業後援
 - ・「ISCC スポーツと文化を楽しむ日」（児童生徒体験事業、講師謝礼等）
 - ・各種スポーツ大会・地域行事 参加出場 部活動支援等
 - ・オープンスクールデー活動費（児童生徒体験事業、講師謝礼等）
- 2 進路支援後援
 - ・児童生徒の職業体験事業補助等
- 3 卒業生支援事業後援
 - ・「二十歳を祝う会」会場装飾、記念品、昼食補助等
 - ・ISCC（スポーツと文化を楽しむ日）活動補助、講師交通費・謝礼等
- 4 教職員・保護者の向上推進事業後援
 - ・職員研修会支援、講師交通費、謝礼等
- 5 教育環境の整備事業後援
 - ・図書ラウンジ、蔵書、児童生徒の教育環境の整備等



主な年間学校行事（令和8年度）		教育後援会予定
4月	始業式 入学式 家庭訪問・懇談	
5月	健康診断 交通安全教室 学校公開① PTA 総会	25（月）～29（金） 総会議案書公開
6月	プール開始 読書月間 学校説明会（小・中） 学校説明会・体験学習（高）	1日（月）10:00～ 第1回役員会 総会
7月	前期進路相談ステージⅡ（高） PTA 進路学習会	会報1発行
9月	始業式 個人懇談 修学旅行（小） 学校公開② ふれあい心のステーション	
10月	小中体験学習 修学旅行（中・高） 学校説明 会・体験学習（高） やまぶき祭（学校公開③）	
11月	後期進路相談ステージⅡ（高） 総合防災訓練 学校公開④小（中高学年） RUN×3（中・高）	
12月	学校公開④（小低学年） 学部集会 終業式	会報2発行
1月	始業式 高等部入学選考	16日（土）第2回役員 会・『二十歳を祝う会』
2月	小中入学相談 入学説明会 個人懇談 読書月間 進路相談ステージⅠ	
3月	卒業証書授与式（高／小・中） 学部集会 修了式	会報3発行

令和 8 年度京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会会計予算書(案)

(単位：円)

〔収入の部〕

科 目	8 年度予算額	7 年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	114,105	92,723	21,382	令和7年度より繰越
会 費	560,000	400,000	160,000	
雑 収 入	395	77	318	預金利息
合 計	674,500	492,800	181,700	

〔支出の部〕

	8 年度予算額	7 年度予算額	増 減	摘 要
事務費	30,000	50,000	-20,000	チラシ印刷費他
教育活動補助費	110,000	0	110,000	講師料、読書活動トロフィー等
読書活動補助費	465,000	410,000	55,000	図書購入費
部活動補助費	30,000	0	30,000	運動用品他
行事補助費	30,000	20,000	10,000	二十歳を祝う会等
予備費	9,500	12,800	-3,300	
合 計	674,500	492,800	181,700	

第3回 二十歳を祝う会 実施要項(案)

京都府立井手やまぶき支援学校
教育後援会

1 目的

- (1) 卒業生の二十歳を祝う。
- (2) 卒業生がこれからの決意や豊富を述べる場とする。

2 会場及び開催日時

会 場: 井手やまぶき支援学校 ランチルーム

開催日: 令和9年 1 月 16日(土) 11 時 00 分から 13 時 30 分

3 主 催

京都府立井手やまぶき支援学校教育後援会

4 対 象

京都府立井手やまぶき支援学校3期卒業生 14名

5 内 容

10:45~参加者受付

11:00 写真撮影

11:15 後援会会長 はじまりの挨拶

11:20 出席者の二十歳の決意、抱負等

11:50 お祝いセレモニー

12:00 在学中のスライドショーを見ながら会食

13:00 二十歳成人保護者より挨拶

13:30 解散、帰宅

6 参加費

1 人 1,300 円(昼食代)

参加費は当日受付で徴収する。 ※二十歳を迎える卒業生の弁当代は教育後援会が負担。

7 その他

- (1) 保護者の参加も可能とする。
- (2) 卒業生、教育後援会の会員には案内を HP でお知らせする。
- (3) 参加者の学校までの送迎については保護者の責任の下行ってもらう。
- (4) 卒業生へのお祝いとして当日の写真と、記念品(コースター)を贈呈する。

8 役割分担

案内(副校長、津路)

教育後援会役員対応(校長)

教育後援会会員対応(小学部総括)

受付(高等部総括、緒方)

会費徴収(教育後援会副会長牛路さん、児玉)

駐車場(上村)

お弁当手配(教育後援会庶務牛路さん、中学部総括)

スライドショー準備(卒業生保護者、津路)